臨床研究に関する情報公開について

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 | 我が国における再発上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がんに対するsecondary debulking surgeryの現状と再々発時の治療法および予後に関する調査研究 |
| 研究期間 | 2017年12月31日まで |
| 研究の目的 | 卵巣がん・卵管がん・腹膜がんは多くの患者が再発を繰り返します。再発卵巣がん・卵管がん・腹膜がんに対する化学療法の効果は初回化学療法のを上回ることはないとの報告があり、再発、再々発に対して長期間有効となる治療が求められています。再発、再々発病巣に対する手術で病巣がすべて切除し得れば生存期間を延長するとの報告がありますが、我が国ではその有効性を評価した報告はありません。よって再発、再々発した患者さんに対しての手術の有効性を評価するため過去にそのような手術をした患者さんを集める必要があり多施設で症例を集積をします。 |
| 研究対象者 | 2000年1月から2014年9月に卵巣がん・卵管がん・腹膜がんで初回手術と術後の化学療法で完全奏効（画像診断で全病変が消失）が得られた後の再発に対して再手術を施行し完全に病巣が取りきれた患者さんです。 |
| 研究方法 | 研究条件にあった患者さんのカルテ内の情報を収集し、専用のワークシートに入力し研究事務局へ提出します。収集された情報を研究代表者が分析解析します。 |
| 研究機関 | 学内研究責任者：自治医科大学　産婦人科　病院助教　森澤宏行共同研究事務局：大分大学医学部　産婦人科　助教　平川東望子（研究代表者）　教授　奈須家栄参加他施設：大分大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、奈良県総合医療センター、静岡県立静岡がんセンター、兵庫医科大学病院、大阪医科大学附属病院、香川大学医学部附属病院、関西ろうさい病院、東京女子医科大学東医療センター、奈良県立医科大学附属病院 |
| 個人情報の保護について | 患者さんに関わるデータは匿名化したうえで研究に使用しますので、個人が特定されることはありません。自分の診療情報が用いられるのを希望しない場合には下記問い合わせ先に連絡いただければと存じます。 |
| 結果の公表 | 研究結果は、しかるべき学会に発表し論文として報告します。 |
| 問い合わせ先 | 苦情相談先）自治医科大学大学事務部研究支援課　電話：0285-58-7576自治医科大学産婦人科　病院助教　　森澤宏行〒329-0431栃木県下野市薬師寺3311-1電話番号：0285-58-7376（産婦人科医局直通）　FAX0285-44-8505Email：r0753hm@jichi.ac.jp |